

第13回名画セミナー

「ゴッホはどうして

『ひまわり』を描いたのか？」感想

2024.9.29(日)実施

- ☆ 同じ画家でも、目線を変えてやっていただけるので興味深いです。
- ☆ ゴッホの作品や人生については、ある程度知っているつもりでしたが、「ひまわり」の作品の変せんなど、より深い知識を得ることができました。想像の力をみがいていきます。
- ☆ 以前読んだ、小説のストーリーと重ねあわせながら楽しくお話を聴かせていただきました。絵をみるときの楽しみが広がりました。
- ☆ 初めて参加しました。自分の知識にプラスされて楽しい時間でした。
- ☆ 毎年とても楽しみにしています。ゴッホの手紙の内容はとても興味深いです。林さんの話を聞いたたびに、弟テオの兄思いが強すぎると思ってます。林さんの絵の見方を教えてほしいです。
- ☆ いつも楽しくお話を聴いています。今回もとてもおもしろいです。弟のテオがとても重要な存在だったということですが、一緒に住んでいたフランス時代に手紙がなかったのが残念です。きっといっぱい話をしたのでしょう。弟なら話せるだろうし。ゴッホが好きかと聞かれると、好き？興味はある、すごい迫力があると思いますが、怖いです。ルノアールの絵に囲まれた部屋なら眠れますが、ゴッホの絵に囲まれた部屋だと、不眠になりそうです。コミュ障であったゴッホが絵の具を一点置くたびに「念」を込めていたように感じるのです。言葉にできない分、筆に込めたかのように。

